

道連ニュース

2011年2月号 No.56

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

全労済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

J AなどからのTPP署名への協力を議決しました

～道連第4回理事会で審議～

1月27日に開催された第4回理事会では次年度の役員選任の件や3月29日に日生協芳賀専務をお招きして「日本の生協の2020ビジョン」学習会を企画するなどについて議決するとともに、「TPPに関する基本認識と当面の対応」について審議しました。結果、J Aなどの「道民・国民合意がないまま参加しないよ

うに要請する」内閣総理大臣宛の署名に協力要請に応えることを審議しました。当会所見を添えて会員生協には合計1万署名を目標に呼び掛けています。

3月中旬には日生協の討議資料が出来ます。各生協での活用をお願いすると共に、学習経過に沿って本署名に取組まれることを要請しています。

灯油情報

灯油元売の「不当」値上げが続いています

～断続的に緊急対策会議の要請行動を実施～

原油「高騰」を煽るメディアの見解に変化がない中、元売各社の「不当」値上げ攻勢が続いています。民主党や市民ネットワークでの政策化要請や緊急北海道地方灯油懇談会（主催：道経済産業局・道）への参加が続いています。来札された福嶋消費者庁長官への要請及び北海道・東北生協連灯油対策連絡会としての中央要請が2月17日に行われました。

しかしメディアや他県の生協陣営での問題意識にも

変化がない模様です。3月100円台の声も聞こえていますので、適宜対策会議の開催を含めて予定します。

尚、道消費生活安定条例では第1次オイルショック時に指定された灯油が除外されていません。この発令など行政からのより強力な元売への指導・監視を含む要請など、新たなスキームづくり無しでは何度も繰り返させられる危惧が残っています。

◆ 非常勤監事研修会・税務経理講習会を開催しました ◆

2月14日、全労済北海道会館にて非常勤監事研修会及び税務経理講習会を2会場で開催し、10生協・日生協・道連の非常勤監事と役職員29名が参加しました。

当会は改正生協法後監事の責任と権限が大きく位置づけられたことにより非常勤監事研修会の3回連続開催を予定し、今回がその3回目です。コープさっぽろの広田常勤監事から監査環境ガイドラインの報告、M Mコンサルティングの三宅講師からは監事の役割と任務や施行後の監査業務の注意点について説明。税務経



開催挨拶の中で活動状況を報告する
前川専務



税務経理講習会

非常勤監事研修会

理講習会では会計処理が会社法に準拠したことにより新生協法での対応を重視し昨年度から再開です。コープさっぽろの東管理部長から中小企業の会計に関する研究会の概要報告、遠藤講師（日生協会員支援本部）からは税務申告や税制改正、税務事例の説明を受けました。引き続き今後も適宜開催が望まれます。

コープさっぽろ 北海道の森づくり交流会2011を開催しました！

コープさっぽろでは、2008年から全店舗で「レジ袋有料化」が始まり、レジ袋辞退者一人につき0.5円を「コープ未来（あした）の森づくり基金」に拠出することで北海道の森づくりをすすめてきました。自治体と植樹協定を結んだ「コープ未来の森」を道内に広げ、「助成制度」による森づくり団体の活動支援など、北海道の森づくり環境の向上を目指しています。

今年は「国際森林年」の年です。基金は北海道内の環境団体の学習交流の場として、全道7拠点をTV会議で結び「森づくり交流会2011」を1月29日に開催し、全道から34団体164名が集いました。柿澤基金運営委員長（北大農学部教授）が「市民が連携して森林保全を進めることが重要、みんなで協力し、楽しみながら森を守ることが大切」と講演。13の助成団体に総額

400万円の目録を贈呈し、助成団体の活動報告や交流を行いました。参加者からは「たくさんの団体の活動内容を聞く事ができ良かった」、「他の団体の話は新鮮で参考やヒントに富んでいます」、「助成団体とのつながりが今年ももてると期待しています。組合員活動とのコラボができるといいです」など、他団体を知り良

1月29日、34団体164名が参加した北海道森づくり交流会



かった事と次に広がる期待がたくさん寄せられました。

北海道労済生協

ホームヘルパー養成講座(2級課程)を開催します！

当会では1996年からホームヘルパー養成講座を開催し、昨年までに972名が修了しました。修了生は当会の在宅介護サービスセンターのヘルパーをはじめ、他のヘルパーセンター・デイサービスセンター・介護施設などで、高齢者の自立した生活のお役にたっています。

今年も例年通り4月と9月に2級課程を開催することになりました。4月の開催内容は下記ようになります。約2ヶ月間で、ベテラン講師陣により週に3～4日の無理のない日程で組んでいます。また、修了時に介護の仕事を希望される方には、当会の在宅介護サービスセンター、その他の介護事業所をご紹介します。詳しくは右記にお問い合わせください。

実践で学ぶ受講生



受講期間	2011年4月14日～6月23日
定員	30名
会場	全労済北海道会館 (札幌市白石区菊水3条4丁目1-3)
受講料	55,000円(テキスト代・実習費等含む)
連絡先	全労済ホームヘルパー養成講座事務局 011-818-8833



講師から講義を受ける会場風景

酪農学園生協

酪農大学との連携で様々な取り組みが実現しています

酪農学園生協は、大学との協力関係を重視して様々な活動を行っています。特徴的な所では6月と10月の年2回「朝食企画」を実施しています。大学から学生が朝食を食べる習慣を身につけてもらうために朝食を100円で提供する企画を相談されました。主旨が生協の思いと一緒にあったこともあり期間限定で100円で販売することを4年前から実現され、今では近隣の大学



生協食堂も紹介されたエゾシカ企画記者発表会

3校と協力しながら行うまでになっています。勿論経営的には無理があるので酪農学園を始め近隣の農家や企業にもご賛

同いただき協賛により続けています。

また、同じく4年前から年1回(2月)『エゾシカ料理まつり』を企画して行っています。北海道のエゾシカの個体数が増加し64万頭ともいわれ稀少植物や農林業への被害、また交通事故などの社会問題になっています。道では、ただ駆除するだけではなく資源の有効活用の一環としてエゾシカ肉の消費拡大キャンペーンを実施しています。その趣旨に賛同し生協食堂で学生にやさしい価格で提供しています。今年は、大学主催で記者発表会を行いTVや新聞で報道されたこともありエゾシカ料理3種類(ハンバーグセット¥600・シチュー¥250・トマトライス¥380)を2月7日～12日まで実施しましたが好評でした。



年2回企画の「100円朝食」